

このマークを見かけたら 温かい目で見守ってください



認知症の方などは、外見的には要介護状態かどうか分かりにくいため、介護者が誤解や偏見を持たれることがあります。

この「介護マーク」は、介護者が、介護中であることを周囲に理解していただくためのものです。

活用する例としては、下記のような場面があります。

- 1 介護していることを周囲にさりげなく知ってもらいたいとき。
- 2 駅やサービスエリアなどのトイレで付き添うとき。
- 3 男性介護者が女性用下着を購入するとき。

加古川市は、介護者を支援するために「介護マーク」の普及を推進しています。現在、介護中で必要な方に配布していますので、下記までお問い合わせください。

